

令和 元年度 下 半期 指定管理者管理運営状況シート

●施設の概要

施設名	岐阜市生涯学習／女性センター	所管課	男女共生・生きがい推進課、文化芸術課
所在地	岐阜市橋本町一丁目10番地23		
指定管理者名	公益財団法人岐阜市教育文化振興事業団		
指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日		
選定方法	☐ 公募 ☒ 非公募		
料金制	☒ 使用料 ☐ 利用料金 ☐ 料金徴収なし		
指定管理委託料 (年額)	223,472,203円(令和元年度)		
施設の設置目的	市民の生涯学習を推進するとともに、男女共同参画社会の実現を図るため		
施設概要	鉄骨造高架下3階建て 延床面積 11,555㎡(併設施設含む) 大研修室、中研修室、研修室50、研修室30、小研修室1～4、和室研修室1・2、音楽スタジオ大・小1・2、パソコンルーム、クラフト室、交流サロン、情報コーナー、生涯学習・ボランティア相談コーナー、市民活動ルーム、平和資料室、こどもの部屋、展示コーナー、駐車場		

●利用状況

		R01 下半期	R01 上半期	H30 下半期	H30 上半期	H29 下半期
利用者数(単位:人)		90,679	81,752	106,812	89,404	113,653
各室稼働状況(%)	大研修室	73.7	80.8	88.8	81.4	87.1
	中研修室	84.2	88.1	93.5	92.7	94.7
	研修室50	81.3	85.3	91.8	91.0	90.6
	研修室30	87.1	96.0	97.6	95.5	94.1
	小研修室1	87.1	96.6	98.8	98.3	98.8
	小研修室2	88.3	96.6	96.5	96.6	97.1
	小研修室3	84.8	97.2	95.9	95.5	92.4
	小研修室4	86.5	94.9	99.4	98.3	97.1
	和室研修室1	24.0	28.2	44.1	26.0	42.9
	和室研修室2	78.4	94.4	95.9	93.2	97.1
	音楽スタジオ大	72.5	90.4	93.5	90.4	91.2
	音楽スタジオ小1	61.4	77.4	88.2	81.9	87.1
	音楽スタジオ小2	35.7	48.6	58.8	66.7	61.2
	パソコンルーム	70.8	83.1	81.2	78.5	84.1
クラフト室	72.5	79.7	90.0	78.5	82.4	

●業務の履行確認

区 分	確 認 事 項	履 行 状 況
利用者サービス	①供用日・供用時間の遵守 ②適切な人員配置 ③広報の方策 ④苦情への対応	①適切な運用を行っている。 ②適切な運用を行っている。 ③ホームページ、広報ぎふ、各種情報誌、ラジオなど、また新たにインスタグラムを利用して、主催事業や活動内容の情報提供を行っている。 ④アンケートを実施するとともに、窓口等で利用者の意見を聴き、可能な限り迅速に対応している。
自主事業・提案事業	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①生涯学習へのきっかけと現代的課題の解決に向けた学習機会の充実 ②地域づくり、まちづくりの推進役となる人材の養成 ③生涯学習拠点施設としての機能の充実と情報発信 ④生涯学習・ボランティアに関する相談業務及び活動支援 2. 男女共同参画推進業務 ①学習機能…男女共同参画に関する事業の企画及び実施 ②情報機能…男女共同参画に関する情報の収集・提供 ③交流機能…市民や団体等のネットワークの形成及び、育成・交流 ④相談機能…男女共同参画に関する女性相談業務の実施 3. 市民芸術文化振興業務 ①芸術文化への参加・参画の促進 ②芸術文化を担う人材の育成、顕彰 ③芸術文化施設の充実 ④伝統的芸術文化の伝承や活用 ⑤芸術文化による地域活性化 ⑥新たな協働による芸術文化の振興	1. 生涯学習推進業務及びボランティア等市民活動支援業務 ①ハートフルレクチャー3講座、357人受講。ふるさと発見講座、連携講座、国際講座を開催。ITコラボレーター会との協働でパソコン講座(14講座各7回)開催。831人受講。 ②市民自主講座31講座開講。 ③にぎわい創出事業(約600人参加)、ハートフルスクエアG情報誌の発行(12月、3月) ④市民活動ルームを運営(延べ5,309人利用)。生涯学習・ボランティア相談コーナーの運営(525件の相談、94件のボランティアコーディネート)。 2. 男女共同参画推進業務 ①ワーク・ライフ・バランス講座など6事業開催、延べ414人受講。 ②「岐阜市女性センターNEWS」6号(1月)、男女共同参画啓発誌「Light vol.2」(3月)、ぎふし男女共同参画情報誌「織」17号(3月)の発行。 ③ 男女共同参画つながり創出事業など5事業開催、延べ9,339人受講。 ④ 電話・面接相談など3事業開催、延べ相談件数491件(電話相談:295件、面接相談:137件、大相談会:59件)。 3. 市民芸術文化振興業務 ①岐阜市民文化祭(美術展覧会、芸術祭、文芸祭)の開催。 ②岐阜市文芸祭(一般の部、小・中学生の部)の開催。市芸術文化協会と連携し、岐阜子ども文化クラブ(2日間)を開催。 ③文化会館を活用した岐阜市美術展覧会、岐阜市民芸術祭の開催。 ④岐阜市芸術祭邦楽部門(入場者数410名)邦舞部門(入場者数315名)開催。 ⑤岐阜市芸術文化奨励賞2名。 ⑥市芸術文化協会との連携によるリレートーク(1回)、まちかどコンサート(1回)の開催(交流サロン)、広報誌の発行(11月、3月)。市民芸術文化・スポーツ基金文化事業助成13件(8件)。ぎふしんカルチャースクール絵画セミナー開催。
施設管理	日常点検(保全)業務 ①施設管理 ②警備業務 ③清掃・受付 ④駐車場管理 ⑤ごみ収集 ⑥消防設備点検(自主点検) ⑦不審者、危険物(自主点検) 法定点検業務 ①消防設備点検(年2回) ②空気環境測定(年6回) ③飲料水水質検査(残留塩素測定)(週1回) 〃 (16・13項目)(年2回) 〃 (12項目)(年1回) ④貯水槽清掃、消毒(年1回) ⑤排水設備清掃(汚水槽含む)(年1回) ⑥ネズミ・昆虫等防除(年2回) ⑦自家用電気工作物保安管理(年6回) ⑧昇降機保守点検(年1回) ⑨自動車用エレベーター保守点検(年1回) ⑩建築設備点検(年1回) ⑪建築物点検(3年に1回)	日常点検(保全)業務 ①良好 ②良好 ③良好 ④良好 ⑤良好 ⑥特記事項なし ⑦特記事項なし 法定点検業務 ①2/25に実施 ②11/27、1/16、3/18に実施 ③毎週水曜日に実施 1/28に実施 9/9に実施 ④1/28に実施 ⑤2/25に実施 ⑥2/25、3/1～15に実施 ⑦11/11、1/15、3/31に実施 ⑧12/24に実施 ⑨2/25に実施 ⑩2/25～3/31に実施 ⑪2/25～3/31に実施
	定期点検業務 ①昇降機保守点検(年12回) ②自動車用エレベーター保守点検(年12回) ③空調設備保守点検(年2回) ④自動扉保守点検(年4回) ⑤パソコン及び周辺機器保守点検(年4回) ⑥駅西駐車場サービス券機保守点検(年1回) ⑦駐車場料金精算設備保守点検(年3回)	定期点検業務 ①保全点検:10/29、1/28に実施 リモート点検は毎月実施 ②10/29、11/26、12/24、1/28、2/25、3/31に実施 ③11/26に実施 ④12/24に実施 ⑤10/29、3/31に実施 ⑥9月に実施済み ⑦11/26、3/31に実施
施設修繕	下記の観点からの修繕実施状況 ①迅速な修繕の実施 ②指定管理者のノウハウを生かした修繕・整備	①日常点検の中で施設及び備品の状況を適切に把握し、不具合箇所が発見された場合は迅速に対応している。 ②施設利用者への対応、予め危険箇所のチェックなど、ノウハウを生かして適切に修繕・整備を行っている。
危機管理・法令遵守	①個人情報の保護 ②非常時の対応策 ③関係法令の遵守	①岐阜市個人情報保護条例、岐阜市個人情報保護条例施行規則及び(公財)岐阜市教育文化振興事業団個人情報保護規程により適切に実施している。 ②危機管理マニュアルを整備するとともに、事故防止対策の実施、防犯対策の実施、防火対象物点検報告特例認定を取得するなど行っている。 ③関係法令を遵守し、運営している。

●利用者評価

利用者アンケートの実施状況	実施期間：10／22～／28、11／1～／7、12／15～／21、1／8～／14、2／22～／28、3／1～／7 アンケート総数：201件
利用者アンケートの実施結果	○利用した部屋は 大研修室 2.4%、中研修室 10.4%、研修室50 8.9%、研修室30 13.9%、小研修室1 8.9%、小研修室2 12.4%、小研修室3 12.9%、小研修室4 9.9%、和室研修室1 2.5%、和室研修室2 6.9%、音楽スタジオ大 3.5%、音楽スタジオ小1 0.5%、音楽スタジオ小2 1.0%、クラフト室 5.4%、パソコンルーム 0.5% ○スタッフの対応について 満足 70.5%、やや満足 9.5%、ふつう 19.5%、やや不満 0.5%、不満 0.0% ○施設や設備の管理状況 満足 65.2%、やや満足 17.7%、ふつう 16.7%、やや不満 0.0%、不満 0.5% ○全体的な満足度 満足 65.7%、やや満足 18.4%、ふつう 15.9%、やや不満 0.0%、不満 0.0% ※アンケート回答者の割合
利用者からの要望・苦情と対処・改善	・ラベンダーの香り？が強かった。 →お知らせくださりありがとうございます。館内につきましては、定期的に換気扇を運転して空気の入れ替えを行っております。また、利用者の皆様へも、香料などの使用をお控えいただくようお願いしておりますが、過度な香りにお気づきの際は、清掃スタッフ、もしくは職員までお申し付けください。 ・床のよごれが気に成ります。 →ご不快な思いをさせてしまい申し訳ございません。清掃につきましては、部屋の空き時間を見計らって行っておりますが、気になる汚れなどがございましたら清掃スタッフが対応いたしますので、職員までお申し付けください。 ・部屋が暑くて冷房をつけたかったのですが使用できなかった。 →ご不便をおかけして申し訳ございません。当館では設備の仕様上、エリアごとに空調機を運転しており、1つのエリアには複数の部屋が割り当てられています。運転モードの設定はエリアごととなるため、同エリアに属する部屋で、暖房と冷房を併用することができません。季節の変わり目などは暖房・冷房のいずれかでの対応が難しい場合が多々あり、このような場合は送風などで対応させていただきます。ご要望がございましたら職員までお申し付けください。 ・マイクの入っているカゴがボロボロになっている。 →ご不便をおかけして申し訳ございません。すぐに職員が確認し、修繕いたしました。 ・トイレのベン座が冷たくなった。何とかならないか。 →ご不便をおかけして申し訳ございません。当館の便座は便座ヒーターの機能がない仕様となっております。すぐに取替えることは致しかねますが、今後修繕が必要な状態となり、設備入替えを検討する際はいただいたご意見を参考とさせていただきます。また、ご意見は岐阜市の所管課へお伝えいたします。 ・ストーブの位置が動かせない。周りの人には熱気ぶんぶん。 →ご不便をおかけして申し訳ございません。空調設備の工事に伴い、暖房が使用できない状態となったため、代替策として石油ファンヒーターを設置いたしました。設置場所につきましては、消防設備の都合上、各部屋に熱感知器や煙感知器を設置していることから安全に施設を利用いただくために、やむを得ずストーブの位置を限定させていただきました。工事期間に利用された皆様にはご不便をおかけいたしました。現在は空調工事も終了し、従来の空調設備を利用いただけます。今後もぜひ、当施設をご利用ください。 ・部屋の利用開始時間をもう少し早くしていただけると有難いです。30分前位に。 →当施設の利用区分は、午前・午後・夜間で分かれており、午前は9時～12時、午後は13時～17時、夜間は17時30分～21時となっております。貸出時間の合間には清掃等を行っておりますので、現状よりも早い時間での鍵の貸し出しはできかねます。ご理解のほどよろしくお願いいたします。 ・以前にも要望しましたが、部屋の利用は月3回までとなっておりますが、4回にならないでしょうか？ →いつもご利用ありがとうございます。できるだけ多くの方に平等に利用していただく為、月3回までの予約とさせていただきます。ただし、利用希望日が1週間以内であれば、月4回以上であっても予約でき、利用することができます。何卒ご理解ください。 ・やはり照明(中)の電気(ライト)消えたままです。節電ならピアノ側のライトにかえて頂きたいです。譜面が手くらがりで見辛いです。(中央よりの2灯は点灯しています) →ご不便をおかけして申し訳ありません。ご指摘の照明は器具不良です。ご報告をいただいてから、急ぎ修繕を行うべく照明設備を手配しておりますが、現在、商品入荷の目途が立たず修繕できておりません。修繕が可能な状況となりましたら、早急に対応させていただきます。一時的な対応策として、簡易ライトを設置いたしましたのでよろしければご利用ください。 ・音楽スタジオ小1のドラムペダルが調子わるめです。 →お知らせくださりありがとうございます。すぐに職員が確認しましたが、不具合などは見当たりませんでした。念のため、清掃と留め具の調整を行いました。具体的な症状などの詳細をお知らせいただけますと幸いです。今後も利用しやすい施設となるよう努めて参りますので、ご協力をお願いいたします。 ・ウィルス対応への指示(早目)(研修室30) / コロナ・ウィルスの連絡は早急にする事。 →新型コロナ・ウィルスの感染予防対策の実施により、ご不便をおかけしております。 当施設では岐阜市の対応方針が示され次第、貸室を利用予定の団体の皆様には、すぐに電話連絡をさせていただきますが、連絡は利用日が近い団体から順次行いましたのでご案内が遅くなった方もあったかと思います。また、貸室利用の申込時にいただいた連絡先に電話を行いましたが繋がらず、結果的にご案内が遅れた方がありました。連絡が遅くなった皆様にはご心配をおかけしてしまい申し訳ございません。尚、新型コロナ・ウィルスへの対応につきましては収束時期が見通せないことから、利用者の皆様には今後もご協力をお願いさせていただくかと思っております。変わらず、ご協力をいただきますようお願いいたします。

●指定管理者の選定基準に基づく評価

区 分	選定基準	評 価 項 目	具体的な業務要求水準	評 価		
				指定 管理者	所管課	評価 委員会
公平性 透明性	住民の平等利用が 確保されること	岐阜市生涯学習／女性センターの運営上の基本方針	・所管の各課と連携を図りながら、岐阜市の生涯学習推進及び男女共同参画推進の拠点施設として、岐阜市の施策に沿った運営を行っているか	S	A	A
		平等利用を確保するための体制、モニタリングなど	・平等利用を確保するための業務を行っているか ・チェック機能(アンケート)等を実施しているか	A	A	A
		情報公開、広報の方策	・市の情報公開制度に基づき公開されているか。 ・指定管理者の発行する広報誌、チラシやホームページで広報されているか	S	A	A
		区分評価				A
効果性	事業計画書の内容が、対象施設の効用(設置目的)を最大限発揮するものであること	生涯学習推進業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、現代的課題に関する講座等の学習機会の提供、啓発イベントの実施、学習情報の収集・提供、学習相談等の業務を行っているか	S	A	A
		男女共同参画業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、男女共同参画に関する講座等の学習機会の提供、情報の収集・提供、女性相談の実施、男女共同参画を推進する市民活動団体・グループとの交流・連携などの事業を行っているか	S	S	S
		ボランティア等の市民活動の支援業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、ボランティア養成講座の実施、啓発イベントの実施、ボランティアや市民活動団体の交流、ボランティア相談業務等の事業を行っているか	S	S	S
		市民芸術文化振興業務を行っていく上での方針と主な事業計画	・岐阜市の施策に沿って、岐阜市民文化祭の開催、文化助成事業、文化団体等の交流・支援等の事業を行っているか	S	S	S
		貸館業務を行っている上での方針と主な事業計画	・生涯学習、男女共同参画、文化芸術活動の場として提供されているか	A	A	A
		生涯学習センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・生涯学習センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		女性センターとして既存業務の改善、工夫又は、新規の魅力的な提案の有無、内容	・女性センターの業務内容を常に見直し、業務改善に取り組んでいるか	S	S	S
		利用者ニーズ、苦情などの把握方法及び対応方策など	・利用者へのアンケート調査を実施しているか ・また、その結果、利用者の要望、クレームに対し適切に対応しているか	S	S	S
		利用促進、利用者増の方策	・利用者を増やすための方策を考えているか	A	A	A
		施設の効用(設置目的)を最大限発揮できるスタッフの配置	・接遇等の職員研修が実施されているか ・適正な人材を配置しているか	S	S	S
		区分評価				S
効率性	事業計画書の内容が、管理経費の縮減が図られるものであること	管理経費縮減の具体的方策	・収支予算と実績とは大きく離れていないか ・具体的な経費の削減の方策を掲げ、努力しているか	S	S	S
		スタッフ配置の妥当性	・各係の職員の配置を工夫し、開館時は常に業務に支障が出ないようにローテーションが組まれているか	S	A	A
		区分評価				A
安定性 安全性	事業計画書に沿った管理を安定して行う物的能力、人的能力を有していること	組織及びスタッフ(採用予定者も含む)の経歴、保有する資格、ノウハウ、専門知識など	・より良いサービスを提供するために職員が勤務しやすい職場環境ができているか ・事業を実施するために必要な資格や知識・経験を有する職員を配置しているか。	S	S	S
		リスクへの対応方策(利用者の安全確保策、防止策、非常時の対応マニュアルなど)	・危機管理マニュアル・緊急連絡網等を整備し、緊急事態に対応できる体制ができているか ・また、個人情報保護等法令順守は適切に行われているか	S	S	S
		施設管理業務を行っていく上での方針と具体策	・各種機械設備の保守点検等を行うとともに、防犯・防火体制を整え、日常の安全確保に努めているか。	S	S	S
		その他指定管理者の提案によるもの	・常に市民参画部と情報交換しながら、市の施策にあった事業が展開しているか	A	A	A
		区分評価				S
貢献性	事業計画書の内容が、岐阜市あるいは施設がある特定の地域(以下「地元」という。)の振興、活性化などに貢献できるものであること	地元での社会活動の参加及び地元への貢献に関すること	・定期的に施設周辺の清掃を実施しているか ・周辺自治会と連携して、地元のまちづくり活動に協力しているか	A	A	A
		その他指定管理者の提案によるもの	・長良川大学へ協力しているか ・ハートフルスクエアG内の他施設と協力して、駅周辺の賑わいの創出に努めているか	S	A	S
		区分評価				A

●指定管理者の取組みに対する自己評価

今期の取組み に対する評価	生涯学習センター - 指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」に基づき、所管課との連携を密にし、指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行った。 生涯学習係 - 障がいのある方の要望に応えられるよう、岐阜市障がい福祉課やぎふ聴覚者協会等と協力し、要約筆記や手話通訳などに対応できる体制を整えた。下半期の事業では3名の要望に応じ、要約筆記やスマートフォンを用いたUDトーク、車椅子エリアを設置し、合理的配慮に努めた。 - 前回のセミナーのアンケートから「裁判員になってみたい」という市民の声に応じて、「裁判員体験！～あなたなら、どう判断しますか～」を岐阜地方裁判所と連携して実施した。 - 多文化共生社会を広く市民に周知するため、公益財団法人岐阜市国際交流協会と連携した国際講座「在日ブラジル人1世からのラブコール」、ハートフルレクチャー「英語節約のすすめ～脱英語依存こそ国際化・グローバル対応のカギ～」、「新元号「令和」の意義と日本の在り方」を実施した。 - 市民の興味が高まる時期に講座を実施するため、募集時期をNHK大河ドラマ『いだてん』『麒麟がくる』の放送に合わせたり、市図書館分館の企画展に絡めたりするなど、様々な媒体を利用した。特にハートフルレクチャー「明智光秀の虚像と実像」では、定員100名のところ5倍以上の募集があったため、講師と相談して定員を200名に増やし、少しでも多くの市民が受講できるように対応した。 - 生涯学習によるまちづくり人材養成事業の受講者に対し、市民講師ステップアップ講座「地域課題の見つけ方」を案内したり、生涯学習・ボランティア相談コーナーの情報を提供したりすることで、まちづくりに参加しやすい環境を整えた。 - 市民自主講座の講師や受講者に働きかけ、サークル化へとつなげた。ハートフルフェスタでの活動披露や展示、ブース出展などにつなげた講師もあり、市民講師の育成と市民活動の発展に寄与することができた。 - 市民講師ステップアップ講座では、市民自主講座の講師と受講者からの意見を元に「コミュニケーションの図り方」を企画したが、新型コロナウイルスの影響で実施を中止した。 - 災害・防災関連講座では、大規模災害にあった時の生活再建を学ぶという新たな視点で講座を企画した。定員を超える応募があったが、新型コロナウイルスの影響で実施を中止した。 - 中高生を対象としたボランティア講座の受講者に、受講後も情報提供したことで、ドリームシアター岐阜のドリームミニフェスタでの活動につながった。 - 生涯学習・ボランティア相談コーナーでは、2～3月は新型コロナウイルスの影響を受け、相談・コーディネート件数が減少したが、下半期全体では昨年度下半期と比べ、相談件数176％(298→525)、コーディネート件数162％(58→94)に増加した。 文化振興係 - 美術展覧会は、岐阜市文化センターで開催した。今年度より市民の要望に応え、原則的に作品の写真撮影を解禁することにした。来場者にこれまでと異なる楽しみ方を提供することができた。台風の接近に伴い授賞式が中止となったが、急遽、次の日に文化センターロビーで行うこととし、受賞の喜びを感じていただける機会を提供することができた。 - 市民芸術祭演劇の部では、岐阜市内で活躍する9劇団が、大小5会場で延39ステージの公演を行った。今年度は人形劇団も参加し、より幅広い年齢層の方に演劇を楽しんでいただける事業となった。新たな年齢層の取り込みを行うことで、入場者数は5年連続3,000名を超えた。 - 文芸祭（一般の部）では、昨年度と比べ、応募人数、応募点数共に増加した。8月19日に審査会を開催し、11月に作品展示と表彰式を行った。 - 今年度(公財)ぎふしん記念財団と岐阜信用金庫との共催により、ぎふしんカルチャースクール絵画セミナー「日本画の魅力に迫る」を開催した。11名の参加者に対し、日本画に関する講義・制作・文化財や名画の見学を通じ、日本画の魅力と文化を継承することの重要性を知る機会を提供した。 ＜施設管理＞ - 利用者アンケートや直接伺った要望を基に施設設備の充実を図った。 ①音楽スタジオの充実 音楽スタジオ(大)用ミキシングコンソール・音楽スタジオ(小)用シンセサイザー、CDレコーダーの新規購入 ②展示備品の充実 展示用ボード3台購入 ③経年による汚れの改善 大研修室・中研修室の椅子の特別清掃、大研修室・中研修室・西階段の床の剥離清掃 小研修室2の机8台を新規購入 - 故障個所の迅速な修繕を実施し、安全管理に努めた。 ①駐車場車止めブロック他修繕 安全に駐車できるよう、劣化した車止めブロックや柱のブロックガードを修繕した。 ②防火シャッター危害防止装置バッテリー交換 防火シャッター作動時に利用者の安全を確保するため、交換時期を迎えたバッテリーを交換した。 ③1階 南(外)自動ドア(ED-2) エンジン更新 自動ドア開閉不良に伴う衝突等の危険回避のため、更新時期を迎えたエンジンを更新した。 ④各種照明の取替 経年劣化により点灯不良となった照明器具をすべてLED照明に取替、照度を確保した。 - 防犯・防火について日常の安全確保に努めるとともに、消防設備点検で指摘を受けた不良個所において早急に修繕を実施した。 2階連絡通路の活用 2階連絡通路に開閉型壁面式掲示板を設置した。故障していた2階入り口の大型ディスプレイを取替えた。今後、生涯学習センターのみならずハートフルスクエアG全体の施設を紹介し、市民に広く周知を図るための設備を整えた。 - SNSの活用 上半期に開設したインスタグラムを活用し、若年層を含めた広い世代へ主催事業等の情報提供を行い、施設の認知度向上を図った。
--------------------------	---

＜リスク対応＞

- ・ 個人情報保護担当者を配置し、**個人情報管理の徹底**を図った。
- ・ 暴力団対策法に基づく不当要求防止責任者選任事務所の表示を受付に掲げ、**反社会勢力に対しての姿勢**を示した。
- ・ 職員が認知症についての理解を深め、接する時の心構えを学び、思いやりのある施設を目指すため、**認知症サポーター養成講習を受講**した。
- ・ 非常時に備え、各職員が適切に行動できるよう図書館や消費生活センターなどの各施設と連携し、緊急地震速報対応の避難訓練(11月)を実施した。また、**防災士／防災リーダーの資格を取得した職員2名を中心に**、緊急時、災害時の対応についてマニュアルを基に共通理解を図った。**消防設備の適切な管理や消防避難訓練等により消防特例認定を受けることができた。**
- ・ JR岐阜駅に隣接する施設として、災害時に帰宅困難者を受入れることを想定し、「帰宅困難者対応マニュアル」を作成、職員に周知を図った。
- ・ **"応急手当協力事業所"登録施設**として、職員全員がAEDを的確に使用できるよう普通救急救命講習を受け、施設内のみならず、駅周辺での急病人や負傷者の応急手当や救急隊到着までの応急措置を学んだ。

＜受入れ事業＞

- ・ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、利用の中止又は延期のお願い(要請)をした。中止又は延期ができない場合には、チェックシートの記入をお願いした。**(3月利用予定団体に連絡した件数約600件)**
また、中止に関わる手続きやキャンセルについては、**利用者に不便や負担が及ばないよう、市の指示を仰ぎながら柔軟に対応した。**
- ・ 施設の**平等利用を確保**するため、毎月1日に施設利用の抽選会を実施した。また、予約システムへの登録を窓口・電話等で積極的に案内した。
- ・ 市内外中学校からの依頼により、**中学生職場体験プログラムで4名を受け入れ**、生涯学習センター・女性センターで様々な体験の場を提供した。

＜その他＞

- ・ 生涯学習・ボランティア相談コーナーにおいて**多様化する相談内容に対応**するため、岐阜県ボランティア・市民活動フェスティバル2019の分科会で「子どもの貧困」「障がい者理解」などを学び、**コーディネート業務に活かす**ことができた。
- ・ 応急手当協力事業所・消防団協力事業所として、地域の方の安全安心に貢献した。
- ・ 快適な公共空間を提供するため**アダプトプログラムに参加**し、ハートフルスクエアアG全体で施設周辺の美化に努めた。
- ・ 空調機器更新期間の対応として、利用者にとできるだけ不便をかけないよう急遽ファンヒータを設置した。
- ・ **空調機器更新による省電力化や電力供給会社の変更**及び、節電に心がけたことで、今期において**対前年度比電気使用量11.0%減、電気料金24.0%減**となり、経費縮減を図ることができた。
- ・ **岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業の認定**
優秀な人材の確保と職員の働く意欲を向上させるため、家庭と仕事の両立支援や女性の活躍推進に向けた取り組みを通して、職員が働きやすい環境を整備し、良質な市民サービスの提供につなげた。
岐阜県に「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」の認定を申請した結果、これまでの事業団の取り組みに対し、審査会で27項目中21項目が評価され、他の模範となる企業のひとつとして、「岐阜県ワーク・ライフ・バランス推進エクセレント企業」(147社／3,200社「令和元年度末」)に認定された。
- ・ **台風被災地への義援金の募金活動**
関東地方中心に甚大な被害をもたらした「令和元年東日本台風(令和元年台風第19号)」の被災者に対し、事業団が管理する各施設の窓口で、義援金の募金活動を行った。集まった義援金は日本赤十字社へ送金し、被災地の復興に役立てられた。

女性センター

指定管理仕様書・事業計画書及び「**第3次岐阜市男女共同参画基本計画**」に基づき、所管課との連携を密にし、**指示を仰ぎながら**、主催事業の開催について計画通りに実施した。

＜実施事業＞

- ・ 「女性の活躍スキルUPアカデミー(リーダー編)」を全2回で開催。**定員30名に対して48名の応募があった。**講師の了承を得て全員受講とし、実践で使える手法を身につけることができた。セミナー後の**交流会にも5割近くの参加があり、満足度は100%**と好評であった。
- ・ 今年度2回目の大相談会を開催。より関心をもってもらえる内容を選び「人生100年時代のマネープラン」を新たに取り入れた。また、その他の相談でも**ネーミングを変えるなどの改善を加え、全体で定員の9割を超える応募があった。満足度も88%**と高かった。
- ・ 男女共同参画つながり創出事業として新規に「おやこでまなぼっ」を開催。**29組と多くの親子が参加した。企画者個々の活動の課題が明確となるようフィードバックを行い、更なる活躍に向けて支援した。**
- ・ 男女共同参画情報紙「織」編集では、市民編集委員が**岐阜市議会の女性議員6名**に働き方や男女共同参画などに関してインタビューを行い、誌面にまとめた。岐阜市内や**全国の男女共同参画関連施設**に配布し、各地より**高い評価を得た。議員と市民との交流**の機会を積極的に提供し各地へ発信したことで、**政治分野における男女共同参画の推進**に寄与した。
- ・ 「ワーク・ライフ・バランス事業」では、「**働き方改革**」の方向性の1つであるしっかりとした**休暇に焦点**を当て、睡眠に関する内容で実施した。募集人数を上回る応募があり、男性が4割を占めた。また、現役世代の応募も多かった。
- ・ 「**日本政策金融公庫との共催セミナー**」を開催。起業を目指す女性を対象に、**新たな起業の方法「クラウドファンディング**」について学んだ。多様な実例を交えながら進められ、より明確に内容が伝わる講座となった。
- ・ 「そのとき!!に備えて・・・」を開催。防災意識の高さとタイトルの「**自宅で3日間乗りきる地震対策**」に惹かれたようで、**定員50名に対し125名の応募**があった。実際の被災後の映像や家具転倒対策のワーク、アルファ米の試食など受講者の印象に強く残る内容で、**満足度も97%**と高かった。
- ・ 6月に続きクラーク記念国際高等学校からの依頼でデートDVをテーマに「男女共同参画出張セミナー」を実施した。**若年層に対しての男女共同参画社会の啓発**に繋がった。
- ・ 父親と未就学児を対象とした「**パパとiっしょにあそぼ!**」を開催。子どもの発育段階に合わせて対象を分け、リトミックと親子体操を行った。父親ならではの動きを取り入れながら親子のコミュニケーションを図った内容は、好評を得た。積極的に育児に関わることで、**子どもの健全な発育やパートナーとの良好な関係の形成**に繋がる機会を提供した。

	・ハートフルネットぎふの合同企画として岐阜大学地域科学部立石研究室との共催で“性の多様性”に関する事業を開催。企画展示及び交流事業を行った。交流事業の基調講演にはハワイ州最高裁判事でありLGBT当事者であるサブリーナ・シズエ・マッケナ氏を招へいし、ハワイ州における性の多様性の問題や経験などを伺った。講演後、一般市民と学生及び団体が世代を超えて交流。LGBT当事者も多く参加しており、性や立場を超えて話し合えたことで理解と関心を深め合える事業となった。満足度は100%となった。 ・「ココロとからだ・性の健康関連講座」を開催。うつ病の実体験を聞けるという興味深い内容であったため、定員100名に対し184名の応募があった。当事者やその家族の方も多く参加しており、実体験をもとにした具体的な対処法を聞くことができ好評を得た。満足度も95%と高かった。 ＜その他＞ ・職員の専門性の向上と誰もが利用しやすい施設にするため、性の多様性に関するテーマの研修に参加した。 ○近年の性の多様性に対する世界の動向と日本の現状を踏まえ、LGBTやジェンダーについて学んだ。(講師:岐阜大学 地域科学部准教授 立石直子氏) ○同性婚をはじめとする性的マイノリティに関わるいくつかの事例をもとに、日本国憲法や法律の解釈の仕方や課題について考えた。(講師:ハワイ州最高裁判事 サブリーナ・シズエ・マッケナ氏、名古屋短期大学教授 綾部六郎氏) ・岐阜市民総合体育館との共催事業「バランスボール de 産後メリハリ body」を開催。小さい子どもを持つ母親が気軽にスポーツに参加できる環境づくりや同年代の子どもを持つ母親同士の交流の場を提供した。また、男女共同参画つながり創出事業の一環として、ハートフルネットぎふ会員団体“ほっぺの会”に参加協力を得た。総合体育館及びほっぺの会が相互に新たなつながりを築き、活動の幅を広げるきっかけとした。 ・地域・職場・家庭などのあらゆる場所での防災について、改めて考えるきっかけとなるよう、男女共同参画啓発誌「Light Vol.2」を発行した。また、作成にあたりハートフルネットぎふ会員団体“清流の国ぎふ女性防災士会”と“LGBTs集いと支援の場 ぎふ・ばすぽーと”と協働し、より市民に密着し分かりやすい内容の啓発誌となった。
前回までの意見の 取り組み状況	生涯学習センター ・ハートフルフェスタに絡め、生涯学習「長良川大学」単位認証式及び記念講演会企画運営委託業務を受託し、記念講演会「グレイヘアと生きる」を実施し、定員100名のところ3倍以上の応募を得て、ハートフルフェスタへのPRにつなげた。 ・ハートフルフェスタに絡め、ハートフルレクチャー「明智光秀の虚像と実像」を実施し、定員100名のところ小学生を含む5倍以上の応募を得て、幅広い年代層へのハートフルフェスタへのPRにつなげた。 女性センター ・ハートフルネットぎふ会員団体の専門的な分野を活かし新たなネットワークが構築できるよう、岐阜市民総合体育館との共催事業や男女共同参画啓発誌の編集を協働で取り組んだ。 ・岐阜大学地域科学部との合同企画やクラーク記念国際高等学校の出張セミナーを行い、高校生や大学生など若年層への男女共同参画の啓発に取り組んだ。 ・受講者が企画者となって実施した男女共同参画つながり創出事業「おやこでまなぼっ」及び「みんなでまなぼっ」について、開催後に個々の活動の課題が明確となるようフィードバックを行った。その際に、上半期にキャリアコンサルタントを取得した職員が、資格を活かした支援を行った。
今後の取組み	・指定管理仕様書・事業計画書及び「第3次岐阜市生涯学習基本計画」「岐阜市文化芸術指針」「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に基づき、必要に応じて所管課の指示を仰ぎながら、安全かつ効率的な施設管理と事業展開を行っていく。 生涯学習センター ・生涯学習拠点施設として「生涯学習によるまちづくり」と「生涯活躍社会」の構築を目指し、職員全員が引き続き共通理解のもとで、施設運営及び事業実施に取り組む。 ・生涯学習拠点施設として「個人の需要を充足する生涯学習講座」と「現代的課題・地域課題に対応する生涯学習講座」をバランスよく企画し、事業の充実を図る。 ・新型コロナウイルスの影響下で、安全で安心な事業を企画する上で、3密を避ける等の予防策やWebinar(ウェビナー)(Web(ウェブ)とSeminar(セミナー)を合わせた言葉)の情報収集を続けるとともに、所管課の指示を仰ぎながら、事業を展開する。 ・新型コロナウイルスの影響で、人と人、人と社会が分断され、生涯学習センターが育んできた“つながり”が奪われることが予想される。それに伴い、「3密を避けた上で集まる方法の提案」「ICTを利用した活動提案」「活動再建情報の提供」など、時代に合わせた事業を展開する。 ・岐阜市美術展における出品点数の減少傾向に対し、各美術関係団体や学校への広報活動に注力するとともに、出品しやすい環境の整備を行うことで現状に歯止めをかけ、点数増加を目指す。 女性センター ・男女共同参画拠点施設として、「第3次岐阜市男女共同参画基本計画」に則り、男女共同参画社会の実現を目指した講座の充実を図る。 ・男女共同参画週間事業において、ハートフルネットぎふ会員団体と共催し、男女共同参画つながり創出事業「なかったことにしない 性暴力！#MeToo #KuToo フラワーデモ」(6月)を開催する予定。更なる男女共同参画社会の実現の推進を図る。 ・「男女共同参画つながり創出事業」において、単発開催のみならずセンター主催事業と同時開催するなど、活躍の場を更に拡大し提供していく。企画者の想いに沿った内容で計画・実施できるよう支援するとともに、事業を通しての新たなつながりの創出を目指す。 ・女性の活躍応援セミナー「ワークアゲイン！～自分らしい働き方 再就職・起業・副業～」(9月)を開催予定。講座終了後プラスα特別編として、昨年度の受講者が講師となり、印象力UP～表情編・カラー編～を行う。受講後の活躍の場を提供し、更なる女性の活躍を支援していく。 ・情報コーナーの拡充を図るとともに、SNSを活用し最新の情報発信を常時行う。 ・各種研修に積極的に参加し、女性センター職員として、専門性を更に高める。

●所管課の意見

生涯学習センター

・講座については、多くの講座で定員以上の応募があり、また、地元が舞台となるドラマ等の影響を鑑み、市民の関心が高まる時期を見定めた講座の企画・提案等については、素晴らしいと思われる。さらに、アンケートから企画した講座の開催等、要望に対応した講座の実施も評価する。

・利用者アンケートを毎月実施しており、アンケートに基づいて優先順位を付け、利用者の安全を第一に考え、施設修繕、改修を行っており、評価できる。

・施設の日常点検及び休館日の定期点検をしっかりと行っており、利用者の安全性やサービス向上のために高いレベルで対応できていると思われる。

・地域のまつりにもブースを出展し、地域との連携を深め、にぎわいも創出し、生涯学習の様々な情報発信にもつなげた。

・利用者の利便性向上及び施設の周知を図るため、案内看板等の表示方法や、設置場所を見直し、分かりやすくした。施設内の利用者に配慮し、常に改善する姿勢が評価できる。

・空調機器更新による省電力化や電力供給会社の変更及び、節電に心がけ、電気料金の縮減を図り、その分館内の必要な修繕などへ充てることができた。

・文化振興業務についても、事業計画に基づき、岐阜市の施策に沿った事業が積極的に展開されている。

・岐阜市美術展覧会においては、岐阜市文化センターで開催し、市民の要望に応え、原則的に作品の写真撮影を解禁するなど工夫し、台風の接近に伴い、授賞式が中止となったが、急遽次の日に文化センターロビーで行うなど、受賞者へ喜びの機会を提供するため、臨機応変に対応した。

・市民芸術祭演劇の部では、人形劇団も参加し、新たな年齢層の取り込みを行うことで、入場者数は5年連続3,000名を超えた。

また、初の試みとして、(公財)ぎふしん記念財団と岐阜信用金庫との共催によりぎふしんカルチャースクール絵画セミナー「日本画の魅力に迫る」を開催し、日本画の魅力と文化を継承することの重要性を知る機会を提供した。このように積極的に挑戦する点を評価する。

女性センター

・男女共同参画拠点施設として、岐阜市の男女共同参画基本計画に基づき事業が展開され、セミナーの高い応募率があることは期待通りで評価できる。

・「男女共同参画つながり創出事業」では、昨年度のセミナーを受講した女性達が、自ら企画した事業を開催するための「場の提供」、「ネットワークづくりのサポート」のほか、事業開催後の「フィードバック」までをセンター職員が支援・指導しており、そのための資格(キャリアコンサルタント)を保持していることから、職員のスキル及び、専門性の高い事業が展開されていることは大変高く評価できる。

・男女共同参画啓発誌を市民団体と協働で作成。さらには、「性の多様性に関する講座」においては、市民団体・関係機関・学生と共催して企画開催しており、各団体との連携・繋がりを意識した事業に努められている。

・市民編集委員と作成する男女共同参画情報紙「織」の編集では、ジェンダーギャップ指数からも見える課題の「政治分野の男女共同参画」に着目し、議会の傍聴や岐阜市議会の女性議員にインタビューするなど、今までにないテーマに挑戦されたことは評価できる。

・コロナ禍により、大きな社会変化が予想される中、女性が抱える問題も様々になることが想定される。相談内容から見える社会の潮流に合わせた事業展開を今後も期待する。

●指定管理者評価委員会の意見

・自ら積極的な企画を立案し、実際に実施にまで持っていく推進力が感じられる。また、その企画においても時機及びニーズを旨く掴んで展開していることは、評価できる。特に、男女共同参画つながり創出事業などで、過去の参加者が自ら事業を展開するサポートをするなど、ファシリテーターやメンターとしての機能が、他の施設のモデル的な存在となっていると評価できる。

・市民サービスに向けて、迅速で細やかな対応がなされている。コロナ禍の中にあっても、利用者は、今後に期待されているため、これからも利用者の声をしっかりと受け止めていただきたい。

・コロナウイルス感染症対策については、丁寧なマニュアルが作成されている。利用者に消毒いただく方法で良いと思うが、初めて利用される方には、最初だけ一緒に管理者の方が対応いただけると正しい消毒法が徹底されると思う。